

7/12 (火) 農業の魅力を伝える新農業人フェア就農相談会

町農業公社は7月12日までに、農業関連学校3校（茨城県立農業大学校、日本農業実践学園、鯉淵学園農業栄養専門学校）の学生を対象とし、新農業人フェア就農相談会を開催しました。

町内の農業関係の法人の協賛により、ジャガイモの収穫や野菜のボイル作業など農作業を体験した後、就農相談会にて法人と情報交換をしました。学生たちは、実際に農業に携わる生産者から経営の仕方や考えを真剣に聞き、地域農業の将来のあり方を学びました。



7/6 (水) 茨城町観光ボランティアガイド勉強会を開催



五浦六角堂での現地ボランティアガイドによる案内

町観光協会では、昨年7月に「茨城町観光ボランティアガイド」を設立し、町内外からの観光客の方々に町の魅力を伝えています。6日には、より優れたガイドを目指そうと、14名の観光ボランティアガイドが勉強会に参加しました。

視察した茨城大学五浦美術文化研究所では、現地ボランティアガイドによる案内で、五浦六角堂や天心邸などの施設や歴史の説明を受け、ガイドの仕方や説明の工夫について学びました。また、北茨城あじさいの森では、あじさいに関する資料を片手に、様々な品種の特長を確認し、酒沼自然公園のひぬまあじさいまつりでのガイド活動に向けての知識を深めました。

7/16 (土) ひぬま流域クリーン作戦



酒沼の水質浄化活動に取り組んでいるクリーンアップひぬまネットワークは、「大好きいばらき県民会議」との共催で、酒沼自然公園を中心に「ひぬま流域クリーン作戦」を実施しました。

当日は地元企業・団体・中学生・高校生・地域住民など720名が参加したほか、一般社団法人日本釣用品工業会の協力でダイバーによる湖底清掃も行い、一般ごみ（総量230kg）や環境に悪影響を及ぼすおそれがある外来植物（総量400kg）の駆除を行いました。

7/9 (土) 酒沼ラムサール環境学習会

町みどり環境課ではラムサール条約登録湿地である酒沼の豊かな自然に触れ合う体験型の学習会を開催しています。第2回目となった9日は「ヒヌマイトトンボと昆虫観察会」をテーマに、約70人が参加しました。珍しいヒヌマイトトンボが飛ぶ姿を発見することができ、大人から子どもまで感動する貴重な体験となりました。



7/20 (水) 夏の交通事故防止県民運動

「気をつけて 子供に自転車 お年寄り」をスローガンに、夏の交通事故防止県民運動が実施され、運動期間初日の20日に、交通安全協会や交通安全母の会など関係団体がイオンタウン水戸南センターコートに集結し、交通安全指導を行いました。

夏は、屋外での活動や家族旅行等のレジャーの機会が増え、子供や高齢者が歩行中の交通事故に遭う危険性が高くなるため、運転をする場合には、歩行者を見かけたら十分注意し、思いやり運転に努めることを呼びかけました。



7/11 (月) 水戸京成百貨店共同企画 メロンキャンペーンで熊本へ義援金



6月26日、京成百貨店との共同企画で本年4月に発生した熊本地震の災害支援としてチャリティーキャンペーンを水戸京成百貨店特設会場にて実施しました。キャンペーンでは、寄付をしてくれた方に町内産メロンをプレゼントしました。

11日、小林町長と水戸京成百貨店の西村会長は、日本赤十字社茨城県支部（水戸市小吹町）を訪問し、チャリティーキャンペーンで集まった18万6,554円を熊本災害義援金として寄託しました。